



午後6時、照ノ富士が敗れ、大相撲の中継が終わりました。ぶらりと何気なく散歩に出ると、水を一面にはった稲田には、早苗が成長の途上です。品種は「はるみ」美味しいご飯になります。斜めに見た稲田は、水面が見えません。育った稲が密集してくるのですね。

夏の象徴、「入道雲」です。規模はさ程ではありませんが、まさに夏です。

北九州から山口県、島根県にかけて繰り返された豪雨、線状降水帯の発生。人命をはじめ多大な被害が起こっています。今年は、エルニーニョの発生とも伝えられ、厳しい気象条件を受容せねばならないのでしょうか？ 被害が及ばないように、ここ寺田縄の地域にあっても不安です。

この「入道雲」の真下は？ 降水、雷、ひょう等の天候異変の影響を受けるのはどの辺りになるのでしょうか？ 群馬県・栃木県の南部に「大雨警報」「竜巻等の突風のおそれ 安全を確保」の注意喚起がなされていました。

「入道雲」は、関東平野の北部地域、寺田縄からは、かなりの距離になります。

